

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-55C	23-332	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Risk factors for early-onset pancreatic ductal adenocarcinoma: A systematic literature review. 早期発症膵管腺がんのリスク因子：系統的文献レビュー		
執筆者		
Chandana SR(1), Woods LM(2), Maxwell F(3), Gandolfo R(4), Bekaii-Saab T(5).		
掲載誌		
.Eur J Cancer. 2024 Feb;198:113471. doi: 10.1016/j.ejca.2023.113471. Epub 2023 Dec 12.		
キーワード	PMID	
膵臓がん、発症リスク、喫煙、アルコール、膵炎、B型肝炎	38154392	
要旨		
<p>背景：がんの新たな傾向として、典型的な発症年齢よりも若い年齢層での膵臓がんの発生率増加が示唆されており、これは人口の曝露や生活様式の変化を反映している可能性がある。</p>		
<p>患者および方法：早期発症の膵管腺がん (PDAC) の遺伝性ではないリスク因子を特定するために、PRISMA 標準の系統的文献レビューを実施した (PROSPERO 番号: CRD42022299397)。MEDLINE および Embase の文献データベースの系統的検索が実施され (2022 年 1 月)、出版物をあらかじめ定められた適格基準に照らしてスクリーニングし、標準化されたデータフィールドを使用してデータを抽出した。STROBE チェックリストを使用して、出版物の質を代用するものとして報告の完全性を評価した。データをリスク因子別に分類し、記述的に分析した。</p>		
<p>結果：合計 24 件の論文が対象となった。すべての論文が観察研究のデータを報告しており、年齢群比較の閾値は 40 歳から 65 歳であった。調査された生活様式因子には、喫煙、飲酒、肥満、運動不足、肉の摂取、社会経済的地位、居住地域が含まれた。調査された臨床因子には、膵炎、糖尿病/インスリン抵抗性、既往がん、診断時のがん病期、B 型肝炎感染、代謝症候群、長期のプロトンポンプ阻害薬への曝露が含まれた。STROBE の評価スコアは 6~21 (最大 22) であった。8 件の研究が交絡因子を調整した結果を報告した。早期発症膵管腺がんの非遺伝性リスク因子として、さらなる調査が必要と考えられるものには、喫煙、アルコール摂取、膵炎、B 型肝炎感染がある。</p>		
<p>結論：早期発症膵管腺がんの非遺伝性リスク因子の証拠は不均一であるが、スクリーニングやリスク低減戦略から恩恵を受ける可能性のあるリスクのある個人の特定に役立つ可能性がある 4 つの因子が特定された。</p>		